

報道機関 各位

資料提供 令和3年10月15日
観光文化スポーツ部
交通政策課 調整・広域交通班
担当者 主幹(兼)班長 加藤 雄樹
副主幹 湊谷 晃清
TEL 018-860-1282
美の国あきたネット掲載 無

羽田発着枠政策コンテストによって配分を受けた 発着枠の取扱いについて

大館能代空港東京羽田線については、羽田発着枠政策コンテストにより、令和2年5月に羽田空港の発着枠の配分を受けておりましたが、今般、国土交通省から、コロナ禍の影響を踏まえた措置として、当該発着枠の取扱いについて、以下のとおり見直す旨の連絡がありましたので、お知らせします。

現在、当該発着枠を活用した3往復運航の実現にはまだ至っておりませんが、引き続き、航空会社、大館能代空港利用促進協議会等の関係者と強ちに連携し、利用の回復・促進に向けた取組を講じてまいります。

1 配分期間

【従前】

令和2年冬ダイヤ～令和4年冬ダイヤ(令和2年10月25日～令和5年3月25日)

【見直し後】

令和2年冬ダイヤ～令和5年夏ダイヤ(令和2年10月25日～令和5年10月28日)

2 検証時期等

【従前】

令和4年の夏から秋頃にかけて、それまでの取組、成果等を検証し、その後(令和5年夏ダイヤ以降)の原則2年間の継続使用又はコンテストの再実施を検討

【見直し後】

令和5年春頃に、それまでの取組、成果等を検証し、その後(令和5年冬ダイヤ以降)の原則1年半の継続使用又はコンテストの再実施を検討